＊_＊

【ロゴスの文化教室】ストリーミング配信

「弱さを受け容れるためにできること」

講演者　若松英輔氏（批評家・随筆家）

コロナ危機は、さまざまな点で「弱さ」とは何かを考える機会となりました。身体的にだけでなく精神的にも、霊的にもそうなのかもしれません。

これまで私たちは「弱さ」を克服するべきものであると考えてきました。「弱い」よりも「強い」方が望ましいと一面的に感じてきたのかもしれません。しかし、パウロは「コリントの人々への第二の手紙」で「自分自身については、弱さ以外のことを誇りはしません」あるいは「わたしは、弱っている時こそ、強いからです」とも語ります。パウロがいう「弱さ」を受け容れた先にある、真の「強さ」とは何か。先人の言葉に寄り添いながら皆さんと考えを深めてみたいと思います。（若松英輔）

≪講演者プロフィール≫

若松英輔氏

批評家・随筆家。東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。2007年「越知保夫とその時代　求道の文学」にて三田文学新人賞を受賞。2016年『叡知の詩学　小林秀雄と井筒俊彦』にて西脇順三郎学術賞を受賞。2018年『詩集　見えない涙』にて詩歌文学館賞を受賞。2018年『小林秀雄　美しい花』にて角川財団学芸賞、2019年第十六回蓮如賞を受賞。その他著書多数。

_＊

7月から8月にかけてインターネット配信でお届けした本年度の「ロゴスの文化教室」ですが、一人でも多くの方にご視聴いただけるよう、配信期間を延長いたします。批評家の若松英輔さんとともに、教皇フランシスコ『福音の喜び』の言葉を深く味わいながら、「弱さを受け容れるためにできること」について考えます。当館のために特別に収録された完全オリジナル講演となっております。

視聴料は図書館事業のため大切に使わせていただきます。皆様からのお申し込みをお待ちしております。

※ご視聴にはパソコンやスマートフォン等の再生機器類と、インターネット環境が必要になります。

★申し込み・視聴期間

10月 1日（金）～11月 30日（火）

※講演は、視聴期間中であれば何度でもご視聴いただけます。

★視聴料　１，５００円（事前入金）

※ご入金の確認が取れた方へ、視聴専用のURLをメールでお知らせいたします。

★申込方法

ロゴス HP「ロゴスの文化教室」内のメールフォームよりお申し込みください。

主催　社会福祉法人ぶどうの木　ロゴス点字図書館
〒135-8585
東京都江東区潮見 2-10-10　日本カトリック会館内
TEL　03-5632-4428　FAX　03-5632-4454

詳細は、右の QR コードからもご覧いただけます。